

バリアフリー「わくわくプラネタリウム」夏休み特別企画<案>

障がいの有無にかかわらず、どなたでもお楽しみいただけます。上映中の入退場は自由です。

※字幕・ヒアリンググループ・アナウンス手話付です。

日時 8月25日(日) 13:30 開始(13:00 開場、約100分)

第一部 「星時間～夏の星座～」とわし座の話

全天周3D映像の宇宙ではたらく探査機たち

「ロボットエクスプローラーズ」

第二部 怪談手話語り

「いつもそばに霊がいるよ！」

「耳が聞こえない霊は怖いぞ！」

語り部 米内山 明宏

※日本ろう者劇団顧問、米内山明宏の手話工房代表 ほか 詳しくは裏面参照



協力 @字幕サークル、全要研東京支部字幕広げ隊、プラネタリウムボランティア

対象 障害のある方とその同伴者、本公演主旨に賛同される方はどなたでも

定員 140名 ※小学3年生以下は、要保護者(20歳以上)同伴

料金 大人500円、中学生以下と障がいのある方の同伴者は無料

申込 当日、先着順。

ろう学校・難聴学級児童生徒、聴覚障害者とその同伴者の方は、下記、事前申込をお願いします。

申込方法：8月9日(金)必着 ※申込みが多数の場合は抽選・全席自由席(うち、ヒアリンググループ席50)

①代表者氏名 ②学校団体名 ③人数(例：小学4年1人、大人1人) ④連絡先(メールアドレスまたは、FAX番号)を記入の上、メールまたはFAXで、下記、問合せ先へお申し込みください。※ヒアリンググループ席を希望する方は「希望します」と記載ください。

※当選案内はメールの方にはメール、FAXの方にはFAXで8月16日までにお送ります。

問い合わせ先 メール：全要研 東京支部 <touyouken@hotmail.co.jp>

FAX：全要研 東京支部 字幕広げ隊 042-646-0120

※申し込みにあたって取得する個人情報、本公演に係る諸連絡の目的で利用するものとし、それ以外の利用はいたしません。

新宿コスミックセンター プラネタリウム

新宿区大久保3-1-2 新宿コスミックセンター8F

- 東京メトロ副都心線
「西早稲田駅」3番出口から
徒歩2分
- JR/地下鉄東西線/西武新宿線
高田馬場駅から 徒歩17分
- 都バス
高田馬場駅から(高71)
新宿駅西口から(早77)
池袋駅・渋谷駅から(池86)
新宿コスミックセンター前
または早大理工前
下車徒歩1分



【問合せ】公益財団法人 新宿未来創造財団 TEL 03-3232-7701

わし座の神話物語

その昔、ギリシャでは神々は夜ごと宴会を開いていました。

いつもお酒を注ぎ神々に親しまれているへべが、結婚しその役を去ることになりました。

困った大神ゼウスは今度は人間界から探し出すことにしました。

さあ、ゼウスはどうやって探し、そして、どうやって地上から天上界へ連れてくるのでしょうか。



©五藤光学研究所



©五藤光学研究所

ロボットエクスプローラーズ ～宇宙ではたらく探査機たち～

宇宙ではたらく探査機たち



人類最初の人工衛星はスプートニク1号。その後数多く打ち上げられ今では4,000台以上の人工衛星ロボットが地球を回っています。

さらに、『探査機』と呼ばれる宇宙ロボットは丈夫なボディと優れた知能を備えていて、どんな危険な場所にも挑むことができます。

私たち人類は、この宇宙ロボットの目や耳を通して未知の宇宙を探索してきています。さあ、その歴史を振り返ってみましょう。

第二部「怪談手話語り」語り部プロフィール



米内山 明宏（よないやま あきひろ）氏

1952年 東京都生まれ

先天的ろうであり、ろうの両親を持ち、ネイティブサイナー（手話の母語習得者）である明晴学園元理事長、米内山明宏の手話工房代表、日本ろう者劇団顧問、演劇実験室・千里魚眼代表、手話狂言の会顧問

1981年 アメリカデフシアターの契約俳優として84カ所ツアー公演

1982年 寺山修司さんと出会う。以後、彼からの演劇の作り方を学び、影響を受けた。黒柳徹子さんと出会い、「日本ろう者劇団」を発足。

1987年 松尾芸能賞特別賞受賞（手話狂言）文化庁芸術祭賞受賞（手話狂言「瓜盗人」）

1988年 東京国際演劇祭参加「藪の中」。

1989年 池袋演劇祭アゼリア大賞受賞（「カスパー伝説」演出を担当）。